

JUMP

1
2015
J A N

平成26年12月30日発行



元気企業
訪問
光洋製瓦
株式会社

ひょうご海外ビジネス センターを活用

- P6 活性化センター・カレンダー
- P7 支援ネットのひろば
 - 情報カレンダー
 - 兵庫県信用保証協会かわら版 流動資産担保融資保証のご案内
 - 孫の疑問に答える 博学ご隠居の技術談義 3Dプリンター
- P10 成長期待企業のイチオン！ 株式会社奥谷金網製作所 パンチングメタル

今月の支援メニュー
**ひょうご海外
 ビジネスセンター**

海外ビジネス展開を考えている県内企業を支援。2014年度から神戸市、ジェトロとの3機関で発足した「ひょうご・神戸国際ビジネススクエア」によりワンストップでの支援を行っている。

ひょうご海外ビジネスセンターは、海外における拠点設立や販路拡大など県内企業の海外事業展開をサポートしています。伝統のいぶし瓦の技術を守り続け、壁材など新たな用途開拓に成功した光洋製瓦は、「海外展開調査支援事業助成金」を活用し、ニューヨークで3人のエージェントと契約、順調に受注を伸ばしています。



元気企業
訪問

光洋製瓦
株式会社

壁材やインテリアグッズなど 伝統のいぶし瓦に新用途 米国での普及目指し NYでエージェント開拓

姫路城の大天守の瓦を復元

50年ぶりの「平成の大修理」を終えた姫路城。その大天守にそびえるシャチ瓦をはじめ、一部の瓦の復元を手掛けたのが光洋製瓦株式会社です。寒さに強く堅牢な「耐寒硬質瓦」の品質が評価されてのこと。「文化財に使われる瓦を造る技術を持っている製造業者は数えるほど。とても名誉なこと」と笹田奈都子社長は言います。

「瓦のこと、経営のことを知らない」専業主婦だった笹田社長が事業を継承したのは13年前のこと。当時は、かつて40社ほどが集積していた地場産業、神崎瓦の製造業者は2社にまで減っており、もっぱら寺社仏閣の屋根瓦を細々と受注していました。しかし、先入観を持たずにに入った伝統産業の世界は笹田社長の目に魅力的に映りました。「他産地の瓦が10時間かけて焼成するところを、神崎瓦は4日間かけて焼き、いぶす。その間の温度変化の調整で、耐久性と美観を備えた瓦が出来上がる職人技を守りたいと思いました」と話します。

まず、同社が地元の観光資源である「銀の馬車道」の近くにあることから、訪れる人たち向けに自社工場粘土瓦製造体験を始めました。並行して、

屋根瓦にとられず、置き物や壁材などの新商品を開発。展示会に出したところ好評を博します。「何も知らなかったからこそ、自由にいろいろなことができた。職人たちが見る間に誇りを取り戻していった」と振り返ります。

渡米しエージェントを発掘

海外に目を向けるきっかけとなったのは5年前。姫路商工会議所の紹介で、ニューヨークで開かれたギフトショー・ジェットブースに出展したことでした。「日本の伝統文化が尊重され、価値を理解してくれている」と手応えを感じた笹田社長は、翌年、「ニューヨーク国際現代家具見本市（ICFF）」に壁材を出展します。関心は高く、帰国してからメールのやりとりでいくつかの仕事が成約しました。しかし、数年同じやり方を続けるうち

に限界を感じるようになります。「展示会のたびに引き合いはあってもその後は戻すばみ。拠点を設けて営業をしないことには長続きするビジネスにはならない」

その時に知ったのが、ひょうご海外ビジネスセンターの「海外展開調査支援事業助成金」です。これを活用し、それまでの展示会で知り合った人やそこから紹介を受けた人を訪ねるためにトランクにサンプルを詰め込んでニューヨークに飛びました。結果、現地在住の建築家やデザイナーら3人とエージェント契約を結ぶことができました。「日本語しかしゃべれないのですが、



ニューヨーク在住のエージェントと打ち合わせ

2000年続いてきたいぶし瓦の素晴らしさを知ってほしいという思いが通じたのでしょうか。自分の足でつけた人たちだからこそ動いてもらえるのです」。早

速、現地でいくつかの仕事が継続的に入り始めています。

「サポートして下さった皆さんは資金がない私たちに、“情熱さえ持ってき

てくれればいい。ノウハウは提供する”と言ってくれました。アメリカで、もっといぶし瓦の魅力を広めたい」と話す表情は熱意に満ちています。

会社概要
光洋製瓦株式会社

所在地 姫路市船津町5241-5
代表取締役 笹田奈都子
事業内容 いぶし製品の製造・販売

TEL 079-232-5295
URL <http://www.koyoseiga.co.jp/>

支援メニュー講座

ひょうご海外ビジネスセンター

県内企業の皆さまの 海外ビジネス展開をサポートします。

2014年5月より当センターは神戸商工貿易センタービル4階に移転。ジェトロ神戸、神戸市アジア進出支援センターの3機関が同じフロアに集まったことにより、海外展開支援をワンストップで対応する連携組織「ひょうご・神戸国際ビジネススクエア」が発足し、海外展開にかかるさまざまなご相談に対して、連携した支援サービスを提供しております。

このほか、アジア主要都市7カ所に設置している「ひょうご国際ビジネスサポートデスク」や兵庫県海外事務所とのネットワークも生かしつつ、さらに海外展開調査や外国出願に関する助成金事業のほか、セミナーやミッション等も行うなど、県内企業の皆さまの海外展開を幅広く支援しております。お気軽にご利用ください。

<海外ネットワーク>

○ ひょうご国際ビジネスサポートデスク

- 中国（上海、広州、大連）
- ベトナム（ホーチミン）
- インド（デリー）
- インドネシア（ジャカルタ）
- タイ（バンコク）

○ 兵庫県海外事務所

- 米国（兵庫県ワシントン州事務所）
- フランス（兵庫県パリ事務所）
- オーストラリア（西オーストラリア州・兵庫文化交流センター）
- ブラジル（パラナ州クリチーバ・兵庫県ブラジル事務所）
- 中国（兵庫県香港経済交流事務所）

問い合わせは ひょうご海外ビジネスセンター TEL 078-271-8402

成果事例一覧はこちら

